



「学校教育目標」
 絆を深め、地域社会に貢献
 できる生徒の育成
自ら学ぶ 思いやる
体を鍛える

文責 竹田 圭志

台風19号の被災者の皆様に 黙とうを捧げました

関東地方を中心に大きな爪跡を残した台風19号。埼玉県でも河川が氾濫して大きな被害をもたらしました。小川町でも、浸水等の被害に遭われた方もいらっしゃるようです。犠牲になられた皆様のご冥福と、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

台風が過ぎた10月15日(火)の朝、生徒会の要請で「臨時生徒朝会」が開催されました。全校生徒が体育館に集合し、生徒会長の呼びかけで、被災地で犠牲になった皆様に全校生徒による黙とうが捧げられました。また、「私たちが今できることは何でしょう」と力強く呼びかけました。昼休みには、生徒会から、「今年のPTAバザーに出品された大量のノートがかなり余っているようなので、支援物資として被災地に送りたい」と、さっそく校長室に申し出がありました。私は、生徒会役員の「情報収集能力」、「思考力」、「判断力」、そして、「行動力」の素晴らしさに感動で身が震えました。

常々、生徒会活動や委員会活動は、「周りを見て、考えて、判断し、実行する」ことに使命があると感じています。生徒がどんなことに困っているのか、どんなことをしたい(してもらいたい)と考えているのか。つつい行事やレクなど、楽しいことをすればみんなが喜ぶと判断しがちですが、まず考えなければいけないのは、『困っている人をなくす』ことが最優先です。今回の生徒会の判断と行動。まさに、その期待に応えてくれたと嬉しく思います。



榺台中生徒の『思い』を届ける黙とう(臨時生徒朝会)

偶然にも、この翌日に新生徒会本部役員の選挙(立合演説会と投票)がありました。新役員には、今回の生徒会の活動のように、まずは、校内で困っている仲間の声を聴くことを最優先に生徒会活動を展開してほしいと思います。

新人体育大会比企地区予選会(球技の部)の結果

10月2日(水)から4日(金)までの3日間、新人体育大会の比企地区予選会(球技の部)が開催されました。結果は以下のとおりです。残念ながら、予選を突破するチーム(個人も含めて)はありませんでした。どのチームもそれぞれ違った悔しさを体験できたと思います。まだまだ成長過程です。これから厳しい冬を乗り越えて、大きく成長した姿が見られることを期待しています。



最後まであきらめずにボールを拾いました(バレーボール部)



1・2年生で組めば、当然2年生が引っぱります(男子ソフトテニス部)



ベンチの応援が楽しかった(女子ソフトテニス部)



最後は3人。でも、気持ちでは負けなかった(バスケットボール部)

- バレーボール部 予選リーグ敗退(対 東秩父中・玉川中・松山中: 全て惜敗)
 バスケットボール部 初戦惜敗(対 白山中学校)
 女子ソフトテニス部(個人戦) 最高位 2回戦惜敗: 2チーム
 (女子団体) 初戦勝利 対 都幾川中、2回戦惜敗 対 川島西中
 男子ソフトテニス部(個人戦) 最高位ベスト16
 (男子団体) 初戦惜敗 対 都幾川中

小川高校放送部の皆さんによる話し方講座

10月7日(月)5校時に小川高校放送部の皆さんを講師にお迎えして、2年生が「話し方講座」を実施しました。来たる10月31日(木)の午後に予定されている「総合的な学習の時間発表会(2年生は「立志～夢を語る会」を実施)」に向け、人前で発表する際にどうすれば聞きやすい発声になるかなどをアドバイスしていただきました。

終了後、2学年主任の秋庭先生にお聞きしたところ、「指導していただいて、わずかな時間でとても聞きやすく変わりました。」と驚きを隠しきれない様子でした。

今回も、小川高校の皆さんは、自分たちの授業より本校生徒への指導を優先して来てくださいました。本番当日、気持ちのこもったスピーチをすることが、何よりの恩返しです。



高校生の発声見本
声はお腹から出します



グループに分かれて練習
なごやかなムードです



放送部顧問の谷野先生も、熱心に指導してくださいました。

保育実習(3年生)

10月15日(火)の2～4校時に小川保育園の園児を招いて保育実習(家庭科のカリキュラムの一環)を行いました。体育館で絵本の読み聞かせ、校庭で鬼ごっこなどをしながら楽しい時間を過ごしました。かわいらしい園児を前にすると、どの生徒も不思議なほどにこやかな表情になります。最後は、お別れするのが辛くなるぐらい仲良しになりました。



「絵本の読み聞かせ」
とっても上手にできました。



遊んであげてる?
いいえ、遊んでもらっています。



すっかり仲良くなって
お別れがつかくなりました。

保育実習の事前学習として10月10日(木)3校時、町立図書館の釘本 宏美 様を講師にお迎えして、絵本の読み聞かせの手ほどきをいただきました。保育実習当日は、その成果を十分に発揮してくれたようです。



真剣に読み聞かせの
「コツ」を学んでいます。



WC場外の小川町ブースの様子
紙漉の実演を見学しました。

ラグビーWC観戦(3年生)



アルゼンチン国歌は難しかった。

事前に配布された両国の国歌(フリガナつき)を開会セレモニーで中学生も歌いましたが、近くにいた熊谷市内の小学生は相当練習して当日を迎えたのでしょびっくりするほど大きな声で歌っていました。

ゲームはアルゼンチン優勢で進みましたが、両国の体を張った勇猛果敢なプレイに、生徒の感想にも、「見るまではあまり関心がなかったけど、あまりの迫力でいつの間にかラグビーが大好きになりました。」「テレビで見るよりずっと迫力があって感動しました。」など大満足だったようです。このような機会をいただけたことは、観戦した子供たちにとって、一生心に残る大切な思い出になったと感謝いたします。

10月9日(水)の午後、町内中学校3校の3年生が熊谷ラグビー場で開催されたラグビー・ワールドカップ(アメリカ対アルゼンチン)を観戦しました【小川町教育プログラム】。

両国の応援団も大勢いて、まさに国際色豊かな会場でした。場外の埼玉県紹介のブースには、小川町の特産品展示コーナーもあり細川紙の紹介なども見学しました。



スクラムを組む音が聞こえます。